エステ実習

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	エステ実習	学年	前期	後期	合計時数
		1年次	90	0	90
		2年次			

使用する教科書	ajesthe認定フェイシャルエステティシャン理論と技術
副教材等	
担当者	小泉愛(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上)

2 目標および内容

目標	ア、エステティックの基礎的な知識と技術を学び理解する。		
	イ、希望者に対し、認定フェイシャルエステティシャンの資格取得を目指す。		
内容	1	エステティック	①フェイシャル実習（ハンドクレンジング、拭き取り、仕上げ）
			②理論（エステティックとは、ホメオスタシスとストレス）
	2	エステティック	①フェイシャル実習（ハンド、ブラシクレンジング、オイルマッサージ、仕上げ）
			②理論（身体のしくみと働きⅠ、皮膚のしくみと働きⅠ）
	3	エステティック	①フェイシャル実習（ブラシクレンジング、オイルマッサージ、パック、吸引、仕上げ）
			②理論（皮膚のしくみと働きⅡ、化粧品の種類と働き）
	4	エステティック	①フェイシャル実習（ブラシクレンジング、オイルマッサージ、パター、仕上げ）
			②理論（栄養、衛生と消毒、フェイシャルエステティックの基礎知識）
	5	エステティック	①60分トリートメント
			②検定対策
			③模擬試験

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

エステ実習

【ビューティービジネス科エステティックコース】

1

科目名	エステ実習	学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年時	135	195	330
		2年時	180	210	390
使用する教科書		新エステティック学　技術編Ⅰ・理論編Ⅰ・理論編Ⅱ			
副教材等		DVD（フェイシャル・ボディ・ワックス脱毛）、エステ教材一式			
担当者	板橋（日本エステティック協会認定講師）,小泉（同左）,両名ともエステティックサロン勤務3年以上				

2 目標および内容

目標	専門的な知識・技術を有し、お客様ニーズに応えるエステティックサービスを提供することで、店舗・サロンの利益やお客様満足を実現できる能力水準のエステティシャンを養成する。お客様のニーズやトリートメント中の肌状態の変化を見極めながら、肌の手入れやトリートメント、リラクゼーションの提供、プロポーション作り、美容脱毛などに関するトリートメントを適切に行って、お客様の満足度を高め再来店につなげる能力を身に付けさせる。		
内容	1	準備 衛生消毒	①トリートメントの身支度を整え、トリートメントに必要な器具、化粧品、備品などの準備を手際よく行う。 ②お客様の目線に立って、お客様が快適に過ごせる環境の準備を行う。 ③衛生管理に細心の注意を払い、自身の手指の消毒や、施術部位の清浄、使い捨て手袋の装着などを適切に行っている。
	2	フェイシャル	①トリートメント全体の目的と効果を的確に理解させる。 ②トリートメントの流れと各工程の目的と効果、手法、禁忌事項を理解させる。 ③各電気機器の目的と効果、手法、禁忌事項、注意事項を理解させる。 ④マッサージの6つの基本手技について手法、効果・作用、ポイントを理解させる
	3	ボディ	①トリートメント全体の目的と効果を的確に理解させる。 ②トリートメントの流れと各工程の目的と効果、手法、禁忌事項を理解させる。 ③各電気機器の目的と効果、手法、禁忌事項、注意事項を理解させる。 ④マッサージの7つの基本手技について手法、効果・作用、ポイントを理解させる
	4	脱毛	①体毛の基礎知識（構造、毛周期など）を理解させる。 ②ワックス脱毛の目的と効果を理解させる。 ③施術工程に加え、禁忌事項、注意事項を理解させる。 ④禁忌事項、施術時の注意事項、ホームケアアドバイスを十分理解させる。
	5	カウンセリング	①お客様とのコミュニケーションを取りながら、基本情報を収集して記録する。 ②多くの肌・身体で観察力と分析力をつみ、正確な判断ができるよう勉強させる。 ③お客様の肌・身体に合わせた的確なトリートメントプランを組み立てる。 ④お客様の満足度を高めるポイントを理解し、期待できる変化を説明できる。

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。 ウ、日本エステティック協会Ajesthe認定上級エステティシャン資格

添付書類2

選択実習（エステ）

【ビューティービジネス科エステティックコース】

1

科目名	選択実習（エステ）	学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年時			
		2年時	90	90	180
使用する教科書		新エステティック学　選択実習編			
副教材等		各単元ごとに関連書籍等を使用			
担当者		豊田正子(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ経営3年以上)			

2 目標および内容

目標	エステティックに最も関係が深く、エステティシャンとして習得しておきたい専門知識を学ぶ。 美と健康は心や身体と深く関係しているので、人間に関わる知識はエステティックを支える要素となるので、 必修科目に加えて選択科目の中からもより広く、より深く学びとる。 エステティシャンとしてより実践的な応用技術を身につける。		
内容	1	応用技術	①フェイシャル　トラブル対応 ②ボディ ③応用技術実践
	2	リンパドレナージュ	①フェイシャル　リンパドレナージュ ②ボディ　リンパドレナージュ
	3	スエディッシュマッサージ	①ボディ
	4	アロマテラピー	①ヘッドスパ ②フェイシャル　トリートメント ③ボディ　トリートメント ④アロマテラピー活用法
	5	その他	①リフレクソロジー ②代替療法 ③東洋医学

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

基礎科学Ⅰ

【ビューティービジネス科エステティックコース】

1

科目名	基礎科学Ⅰ	学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年時	75	90	165
		2年時	60		60
使用する教科書		新エステティック学　理論編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
副教材等		各単元等に関連書籍を使用			
	板橋智子(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上)				

2 目標および内容

目標	エステティックに関する基礎的な知識を習得させエステティシャンとしての社会的な役割と基本的な心構えを育てる。 エステティックに関わる解剖生理学、皮膚科学、栄養学、化粧品学、カウンセリング学を学び、エステティックはホリスティックな観点から考えられていることを学ばせる。 カウンセリングの実践では、コンサルテーションシートを基に、お客様の心に響くカウンセリングができるように指導する。また、習得した知識を十二分に発揮し、お客様へのホームケアアドバイスができるように指導する。 上級エステティシャン資格試験、全員合格を目指す。		
内容	1	エステティック概論	①エステティックの概念
			②エステティックの本質と領域
			③ソワンエステティックとエステティシャンの心構え
			④美と健康
			⑤エステティックの歴史
	2	ホメオスタシス	①ホメオスタシスとは
			②ホメオスタシスを制御する仕組み
			③ホメオスタシスを乱すストレス
	3	解剖生理学	①身体の基本
			②骨格系・筋系、神経系、感覚、内分泌系、呼吸器系
			③循環器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系
	4	栄養学	①栄養学の基礎知識
			②健康と栄養
			③サプリメント
			④食品添加物
	5	化粧品学	①化粧品概論
			②フェイシャル・ボディ・ヘアケア化粧品、フレグランス
			③化粧品の原料
			④化粧品に用いられる薬剤とその働き
	6	カウンセリング学	①カウンセラーの役割
			②心のメカニズムと顧客管理
			③カウンセリングの流れ
			④カウンセリンング手順

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。
	ウ、日本エステティック協会Ajesthe認定上級エステティシャン資格

添付書類2

基礎科学Ⅱ

【ビューティビジネス科エステティックコース】

1

科目名	基礎科学Ⅱ	基礎科学Ⅱ			
		学年	前期時数	後期時数	合計時数
		1年次		45	45
		2年次	24		24
使用する教科書		新エステティック学 - 理論編Ⅱ・Ⅲ (一般社団法人日本エステティック協会発行)			
担当者	板橋(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師),小泉(同左),両名ともｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上				
	倉橋(仙台ヘアメイク専門学校事務長,高等学校教諭二級普通免許(社会・商業)				
	高橋(美容師免許,美容所勤務９年以上,厚生労働省「衛生管理」認定講習修了)				

2 目標および内容

目標	① エステティック業が担う、「手技または化粧品・機器等を用いて、人の皮膚を美化し、体型を整えるなどの指導または施術を行う」ための知識を習得する。	
	② 関連法規、公衆衛生･衛生管理、サロン経営学、接客マナー、救急法、運動生理、エステティック機器の各分野を基礎から学び、実務の実例と併せて幅広く知識を習得する。	
内容	関連法規	エステティック業に携わるうえで必須の法令を学ぶ。
		⑴法の基礎知識⑵消費者保護⑶人の身体に触れる職業に関連する法律⑷経済行為に関連する法律⑸エステティック業界の統一自主基準
	公衆衛生･衛生管理	エステティック業に携わるうえで必須の衛生に関する項目を学ぶ。
		⑴公衆衛生⑵衛生管理⑶感染症⑷衛生管理の実践
	サロン経営学	エステティック業に携わるうえで必要な経営に関する項目を学ぶ。
		⑴サロン開設のシミュレーション⑵サロンの運営と管理⑶サロン繁栄のために
	接客マナー	エステティック業に携わるうえで必須の接客マナーを具体的に学ぶ。
		⑴笑顔･挨拶⑵身だしなみ⑶言葉遣い⑷態度･振る舞い⑸電話応対の心得
		⑹基本動作⑺お客様への心遣い⑻クレーム処理⑼サロン実習
	救急法	エステティック業に携わるうえで、発生が想定される救急に関する項目を学ぶ。
		⑴救急法の基本⑵エステティシャンにかかわる救急法⑶エステティシャンが行う「応急手当」⑷エステティシャンが行う「一次救命処置」⑸傷病者の移動
	運動生理学	エステティック業に携わるうえで必要な運動の効用に関する項目を学ぶ。
		⑴運動生理学とは⑵運動とアンチエイジング⑶運動と代謝⑷運動プログラム
		⑸姿勢･ポジショニング⑹運動の実際
	エステティック機器学	エステティック業に携わるうえで必須の機器に関する項目を学ぶ。
		⑴電気理論⑵人体と電気⑶エステティック機器の種類と原理

3 学習評価

評価基準および内容	ア、定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

アロマ(基礎)

【ビューティービジネス科ｴｽﾃﾃｨｯｸ、ﾈｲﾙ･ﾒｲｸｱｯﾌﾟｺｰｽ】

1

科目名	アロマ（基礎）	学年	前期		後期		合計時数	
			エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	30	30	0	0	30	30
		2年次						
使用する教科書		アロマテラピー検定公式テキスト（1級・2級対応）						
副教材等		検定精油キット（1級・2級対応）						
担当者	板橋智子（日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上）							

2 目標および内容

目標	アロマテラピーのメカニズムからヘルスケアやビューティケアへの精油の活かし方まで、アロマテラピーに関する実践的な知識を幅広く学ばせる。 個々の精油の基本的なプロフィールを学ばせる。 アロマテラピー検定1級合格を目指す。		
内容	1	アロマテラピーの基本	①アロマテラピーの定義 ②精油の抽出方法について ③精油を安全に使用するための心得 ④精油のもたらすさまざまな作用
	2	アロマテラピーの実践	①アロマテラピーの基材について ②アロマテラピー利用法（芳香浴法、沐浴法、吸入法など） ③トリートメント法
	3	アロマテラピーのメカニズム	①精油が心身に伝わる仕組み ②嗅覚器から脳へ伝わる経路 ③皮膚に浸透して伝わる経路
	4	アロマテラピーの歴史	①古代 ②中世 ③近世～近代 ④現代
	5	精油のプロフィール	①精油のプロフィール（30種）

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

メイク実習

【ビューティービジネス科ｴｽﾃﾃｨｯｸ、ﾈｲﾙ・ﾒｲｸｱｯﾌﾟｺｰｽ】

1

		学年	前期	後期	合計時数

科目名	メイク実習		エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	90	90	90	0	180	90
		2年次	0	120	0	150	0	270
使用する教科書		シュウウエムラメイクアップ技能検定試験生徒用テキスト						
副教材等		メイク教材一式						
担当者	阿部宏子,川﨑みよこ(全員美容師免許,美容所勤務3年以上)							
	森((一社)JMA-shu uemura認定講師)							

2 目標および内容

目標	ア、メイクアップの基礎知識に合わせ、皮膚、骨格の理解、化粧品の分類・目的を理解する。		
	イ、基本手技の展示及び相モデル実習の中で反復練習を重ね、テクニックを習得する。		
	ウ、希望者に対し、シュウウエムラメイクアップ技術検定を自校開催で行い資格取得を目指す。		
	エ、特殊メイクなどの応用メイクを通し、作品制作を行う。		
	オ、顔のパーツや、カラーによる印象の違いを理解し、知識を深める		
内容	1	スキンケアテクニック	①道具の準備、顔の成り立ち、化粧品について
			②ポイントクレンジング→ベースクレンジング
			③化粧水、乳液塗布
	2	ベースメイク	①アンダーベース(下地)
			②ファンデーション　色味の選定、スポンジワークでの塗布による
			仕上がりの違い
			③トラブルカバーテクニック
	3	ポイントメイクアップ	①リップメイクアップ
			②アイメイクアップ(アイシャドー、アイライン、マスカラ)
			③アイブローメイクアップ　④チークルージュメイクアップ
	4	検定対策	①タイムトライアル
			②作品制作
	5	特殊メイクアップ	①傷、痣、やけどメイク　②ハローウィンメイク
			③宝塚メイク　④ラメを使ったグリッターメイク
			⑤動物メイク
	6	応用メイクアップ	①パーツバランスによる印象、仕上がりの違い
			②カラーによる印象、仕上がりの違い　③メイクアップデザイン
	7	作品制作	①タイムトライアル
			②作品制作

3 学習評価

評価基準及び内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

メイクセラピー

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	メイクセラ	学年	前期	後期	合計時数

科目名	ピー	1年次	0	90	90
		2年次	90	90	180

使用する教科書	メイクセラピー検定2級テキスト
副教材等	メイク教材一式
担当者	池田(美容師免許,一般社団法人メイクセラピストジャパン認定メイクセラピスト
	メイクセラピーインストラクター自営3年以上

2 目標および内容

目標	ア、メイクアップの基礎知識に合わせ、皮膚、骨格の理解、化粧品の分類・目的を理解する。		
	イ、基本手技の展示及び相モデル実習の中で反復練習を重ね、テクニックを習得する。		
	ウ、希望者に関しては、メイクセラピー検定2級試験を自校開催で行い、合格を目指す。		
内容	1	スキンケアテクニック	①道具の準備、顔の成り立ち、化粧品について
			②ポイントクレンジング→ベースクレンジング
			③化粧水、乳液塗布
	2	ベースメイク	①アンダーベース（下地）
			②ファンデーション　色味の選定、スポンジワークでの塗布による仕上がりの違い
			③トラブルカバーテクニック
	3	ポイントメイクアップ	①リップメイクアップ
			②アイメイクアップ（アイシャドー、アイライン、マスカラ）
			③アイブローメイクアップ
			④チークルージュメイクアップ
	4	メイクアップデザイン	①タイムトライアル
			②作品制作
			③メイクアップカウンセリング
			④化粧心理について

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

化粧品検定Ⅱ

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	1選択 化粧品検定Ⅱ	学年	前期	後期	合計時数
		1年次			

		2年次	30	30	60

使用する教科書		日本化粧品検定1級対策テキスト コスメの教科書(㈱主婦の友社発行)
副教材等		メイク教材一式
担当者	森((一社)JMA-shu uemura認定講師)	
	小泉愛(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上)	

2 目標および内容

目標	化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方ができるようになる知識を習得し	
	化粧品専門家を目指す。	
	① 1級出題範囲の習得	
内容	1級 出題範囲	化粧品の原料、スキンケア化粧品
		男性肌の特徴、メイクアップ化粧品の基本となる原料
		UVケア化粧品、ベースメイクアップ化粧品
		ポイントメイクアップ化粧品、アイメイクアップ化粧品
		ボディメイクアップ化粧品
		毛髪と頭皮の構造と機能、毛髪の変化とトラブル
		ヘアケア化粧品
		爪の構造と機能、ネイル化粧品と手入れ方法
		嗅覚のしくみと香りの種類
		口腔と歯の構造
		サプリメントの基礎知識
		化粧品と医薬品医療機器等法
		化粧品･薬用化粧品･医薬部外品の効能と効果
		化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表示
		化粧品の安全性を守るためのルール
		化粧品を安全に保つには、化粧品と肌トラブル
		化粧品の官能評価、官能評価の実施例

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

ネイル実習

【ビューティービジネス科ｴｽﾃﾃｨｯｸ、ﾈｲﾙ･ﾒｲｸｱｯﾌﾟｺｰｽ】

1			学年	前期		後期		合計時数	
	科目名	ネイル実習		エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
			1年次	90	90		90	90	180

		2年次		240		270		510
使用する教科書		JNAテクニカルシステム　ベーシック編　・　ジェルネイル編						
副教材等		ネイル教材一式						
担当者	横田(日本ネイリスト協会認定講師,自営出張ネイルサービス業3年以上)							

2 目標および内容

目標	ネイル技術を習得するために必要な技術理論と、基礎テクニックを習得する。爪は皮膚の付属器官である という観点からも、爪に対する正しい知識を身につける。 ネイル検定(3～1級)、ジェルネイル検定(初級～上級)資格取得を目標に、基礎技術から応用技術まで 学習する。 ネイルに関わる衛生管理をしっかり身につける。		
内容	1	ネイルの基礎知識	①ネイルの技術体系 ②ネイルに関わる用品、化粧品 ③テーブルセッテイング ④ネイルの歴史
	2	生理解剖学	①爪の構造と各部名称 ②爪の異常、病気
	3	JNEC検定対策	①ネイリスト技能検定3級対策 ②ネイリスト技能検定2級対策 ③ネイリスト技能検定1級対策
	4	JNA検定対策	①ジェルネイル検定初級対策 ②ジェルネイル検定中級対策 ③ジェルネイル検定1級対策
	5	サロンワークの基礎	①サロン環境 ②衛生管理 ③消毒法 ④カウンセリング

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

ヘアスタイル・着付け

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	ヘアスタイル着付け	学年	前期	後期	合計時数
		1年次	60	0	60
		2年次			
使用する教科書		美容技術理論2			

副教材等	百日草の花嫁
担当者	吉田,佐々(全員美容師免許,美容所勤務3年以上,厚生労働省「美容実習」認定講習修了)

2 目標および内容

目標	ア、着付けの理論、技術を学び習得する。		
	イ、婚礼でのマナーや、所作、言葉遣いなどを身につける。		
	ウ、アップスタイルの基本テクニックを学び習得する。		
内容	1	着付け	①着物の各部名称
			②着物のたたみ方
			③肌着、補正の着付
			④長襦袢の着付
			⑤長着(着物)の着付
	2	着付け	①浴衣の着付
			②袴の着付
			③振袖着付
			④留袖着付
	3	ヘアスタイル	①頭部のブロッキング、頭部の各部名称
			②ピニングの仕方(平止め、並行止め、ねじり止めなど)
			③ブラッシング、一束にまとめる
			④ホットカーラーの巻き方
	4	ヘアスタイル	①アイロンワーク(ストレート、カール)
			②アイロンの巻き方によるカールの違い
	5	作品制作	①ヘアスタイル、着付けでコーディネートをする
			②帯結びのバリエーション

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

AFT(色彩学)

【ビューティービジネス科エステティック・ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	色彩(AFT)	学年	前期		後期		合計時数	
			エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	30	30	0	30	30	60
		2年次	0	15	0	0	0	15
使用する教科書		AFT色彩検定　3級公式テキスト、2級公式テキスト						

副教材等	配色カード
担当者	佐藤知美(高等学校教諭一種免許(美術))

2 目標および内容

目標	ア、AFT色彩検定3級合格を目標に理解させる。		
	イ、AFT色彩検定2級合格を目標に理解させる。		
	ウ、さまざまな分野で活用できる色彩学を身につけさせる。		
内容	1	色の表示 色彩調和 ファッション	①色の分類、色の三属性、純色、清色、中間色、表色系、三属生による色表示、トーン
			②色相を手掛かりにした配色、
			③トーンを手掛かりにした配色
			④ファッションコーディネイトのおける色彩
			⑤ファッションタイプトカラーコーディネイト
	2	色彩心理	①色の心理効果
			膨張色と収縮色、軽い色と重い色
			②色の視覚効果
			色の対比と同化、面積効果
	3	光と色	①色は何故見えるのか。光とは何だろう。
			②光の性質と色、加法混色、減法混色
			③光の性質と色視覚系の構造と色
			④照明
	4	色の表示 インテリア	①JISの色名規格、系統色名
			②パブリックゾーンの色彩
			③セミパブリックゾーンの色彩
			④プライベートゾーンの色彩
	5	エクステリア環境	①エクステリア環境色彩の考え方
			②住宅のエクステリア環境色彩
			配色構成の考え方、 住宅外観のスタイル分類
			③まとめ

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

パーソナルカラー

【ビューティービジネス科エステティック・ネイル・メイクアップコース】

1

科目名		学年	前期		後期		合計時数	
	パーソナルカラー		エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	0	0	0	30	0	30
		2年次	0	0	30	30	30	60
使用する教科書		はじめてのパーソナルカラー・役に立つパーソナルカラー						
副教材等								

担当者	佐藤知美(高等学校教諭一種免許(美術))

2 目標および内容

目標	ア、パーソナルカラーの効果、診断法、色がつくり上げる感情効果を理解させる。 イ、パーソナルカラーの活用のテクニックを理解させる。 ウ、さまざまな分野で活用されるパーソナルカラーを理解し、色のしくみやなりたい自分になる カラーコーディネイトを身につけさせる。		
内容	1	パーソナルカラーとは	①パーソナルカラーの効果
			②パーソナルカラーの診断法
			③色がつくり上げる感情効果
	2	色の仕組み	①パーソナルカラーにおける色の要素
			②色相・明度・彩度・清濁の変化による色の違い
			③色の見分け演習
	3	パーソナルカラーのコーディネイト術	①フォーシーズン分類と色の特徴・色の見分け・演習
			②パーソナルカラーの活用
			③コーディネイトのポイント
	4	分野ごとに活用されるパーソナルカラー	①ブライダル業界、ヘアメイク業界、ネイル業界、アパレル業界、食空間コーディネイト、慣習的な配色法
			②色相分割による配色法
			③配色演習
	5	パーソナルカラー活用テクニック	①パーソナルカラーの色彩調和論
			②イエローベース、ブルーベース、同化と対比
			③カラードレープ演習、配色実習
			④目的別色選びのポイント(メイク、ネイル)、 まとめ

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

販売士

【ビューティービジネス科エステティック、ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	販売士	学年	前期		後期		合計時数	
			エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	0	30	0	30	0	60
		2年次	30	0	0	0	30	0
使用する教科書		販売士検定3級　ハンドブック他						
副教材等								
担当者	備前恵美(高等学校教諭二級免許(社会))							

2 目標および内容

目標	ア、販売士検定3級合格を目標に理解させる。		
	イ、ビジネスマナーの基本を身につけさせる。		
	ウ、小売業としての法律を学ばせる。		
内容	1	ビジネスマナーとは	①敬語の使い分け　話の聴き方
			②電話応対の基本について
			③クレーム対応の基本
			④接客応対
	2	販売士科目	①マーケティング
			②店舗運営管理
			③小売業の法律
	3	マーチャンダイジング	①仕入計画の基本的役割
			②顧客管理
			③在庫管理
	4	販売＆経理管理	①販売員の基本業務
			②販売員の法令知識
			③販売業務と計数管理の基本的知識
			④売り場の人間関係について
	5	実務実技	①贈答の実技
			②実務実技ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ
			③電話応対のロールプレイング

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

選択ネイル

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	選択ネイル	学年	前期	後期	合計時数
		1年次	0	90	90
		2年次			

使用する教科書	JNAテクニカルシステム　ベーシック編　・　ジェルネイル編
副教材等	ネイル教材一式
担当者	横田(日本ネイリスト協会認定講師,自営出張ネイルサービス業3年以上)

2 目標および内容

目標	ネイル技術を習得するために必要な技術理論と、基礎テクニックを習得する。爪は皮膚の付属器官である という観点からも、爪に対する正しい知識を身につける。 ネイル検定（3～1級）、ジェルネイル検定（初級～上級）資格取得を目標に、基礎技術から応用技術まで 学習する。 ネイルに関わる衛生管理をしっかり身につける。

内容	1	ネイルの基礎知識	①ネイルの技術体系
			②ネイルに関わる用品、化粧品
			③テーブルセッテイング
			④ネイルの歴史
	2	生理解剖学	①爪の構造と各部名称
			②爪の異常、病気
	3	JNEC検定対策	①ネイリスト技能検定3級対策
			②ネイリスト技能検定2級対策
			③ネイリスト技能検定1級対策
	4	JNA検定対策	①ジェルネイル検定初級対策
			②ジェルネイル検定中級対策
			③ジェルネイル検定1級対策
	5	サロンワークの基礎	①サロン環境
			②衛生管理
			③消毒法
			④カウンセリング

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。 イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

選択メイク

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	選択メイク	学年	前期	後期	合計時数
		1年次	0	90	90
		2年次			

使用する教科書	シュウウエムラメイクアップ技術検定生徒用テキスト
副教材等	メイク教材一式
担当者	阿部,川﨑,吉田(全員美容師免許,美容所勤務3年以上) 森((一社)JMA-shu uemura認定講師)

2 目標および内容

目標	ア、メイクアップの基礎知識に合わせ、皮膚、骨格の理解、化粧品の分類・目的を理解する。		
	イ、基本手技の展示及び相モデル実習の中で反復練習を重ね、テクニックを習得する。		
	ウ、特殊メイクなどの応用メイクを通し、作品制作を行う。		
	エ、顔のパーツや、カラーによる印象の違いを理解し、知識を深める		
内容	1	特殊メイクアップ	①傷、痣、やけどメイク
			②ハローウィンメイク
			③宝塚メイク
			④ラメを使ったグリッターメイク
			⑤動物メイク
	2	応用メイクアップ	①パーツバランスによる印象、仕上がりの違い
			②カラーによる印象、仕上がりの違い
			③メイクアップデザイン
	3	作品制作	①タイムトライアル
			②作品制作
	4		
	5		

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

化粧品検定Ⅰ

【ビューティービジネス科ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	化粧品検定Ⅰ	学年	前期	後期	合計時数
		1年次	30		30
		2年次			

使用する教科書	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト コスメの教科書(㈱主婦の友社発行)
副教材等	メイク教材一式
担当者	森((一社)JMA-shu uemura認定講師)
	小泉愛(日本エステティック協会認定講師,エステティックサロン勤務3年以上)

2 目標および内容

目標	化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方ができるようになる知識を習得する。	
	① 3級出題範囲の習得	
	② 2級出題範囲の習得	
内容	3級 出題範囲	クレンジング･洗顔の基本、化粧水の基礎知識/乳液･クリームの基礎知識
		美容液とは、肌悩みの対処法
		スペシャルケアに関する疑問、肌の手入れの基本手順、
		日焼け止めの基本、メイクアップの基本
		化粧くずれの対処法、自分に似合う色の見つけ方
		唇の皮むけの対処法、まつ毛ケアのための基礎知識
		ボディケアの基本、ボディケアに関する疑問
		ヘアケアの基本、シャンプーの基礎知識、手や爪の特徴
	2級 出題範囲	皮膚の構造、皮膚のしくみと働き、皮膚の機能
		肌のタイプと見分け方、肌悩みの原因と手入れ
		メイクアップの基本テクニック、肌悩みに応じた化粧品の使い方
		肌を劣化させる要因、紫外線が肌に与える影響
		効果的なマッサージの必要性と方法、美肌をつくる生活習慣

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。

添付書類2

HR

【ビューティービジネス科エステティック・ネイル・メイクアップコース】

1

科目名	HR	学年	前期		後期		合計時数	
			エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ	エステ	ネイル・メイクアップ
		1年次	15	15	15	15	30	30
		2年次	15	15	0	0	15	15
使用する教科書								
副教材等								
担当者	板橋智子(日本エステティック協会認定講師,エステティックサロン勤務3年以上)							
	佐藤知美(高等学校教諭一種免許(美術))							

	森((一社)JMA-shu uemura認定講師)
	小泉愛(日本ｴｽﾃﾃｨｯｸ協会認定講師,ｴｽﾃﾃｨｯｸｻﾛﾝ勤務3年以上)

2 目標および内容

目標	ア、就活活動で必要な基本を身につけさせる。		
	イ、さまざまな面接に対応できる様に練習を行う。		
	ウ、企業様の求める人材を理解し自分を理解させる。		
内容	1	就活ノート作成	①敬語について
			②社会人とは(学生との違い)
			③求められる人材
			④現2年生の実績について
	2	自己PR作成	①長所や短所など自分の生かす部分の把握
			②自分のアピールポイントを把握する
	3	会社説明会、サロン訪問について	①身だしなみ
			②立ち振る舞いの仕方
	4	履歴書の書き方	①文字の大きさや綺麗な見せ方
	5	面接練習と対策	①入室退室の仕方
			②3つのワード、姿勢、礼の復習
			③面接練習のまとめ

3 学習評価

評価基準および内容	ア、教務内規による定期考査にて評価する。
	イ、授業内容の理解度を確認するため、単元ごとの小テストを行う。